

日本語コミュニティによる日本語ルートゾーンラベル生成ルール (LGR) 策定のための生成パネルの形成について

ICANN は、日本語ルートゾーンラベル生成ルールについて検討する生成パネルが設立されたことを発表します。

ルートゾーンラベル生成ルール策定のための生成パネルの募集に対応し、2015 年 2 月 6 日に日本語コミュニティは ICANN に対して、ルートゾーンにおける日本語ラベル生成ルールに関する生成パネルの提案を行いました。ICANN スタッフは、パネルの構成や範囲などの提案内容を審査し、[LGR 手続き](#)に定められた要件、および特にルートゾーンラベル生成ルール策定のための生成パネルの募集に定められた条件を満たしていることを確認しました。

日本語生成パネルに参加し、時間を割いて専門性を提供してくださる有志メンバー各位に、ICANN を代表して謝意を表明します。

構成と作業計画が承認されたため、日本語生成パネルはラベル生成ルールについて作業を開始します。[LGR 手続き](#)によると、生成パネルの作業は MSR (Maximal Starting Repertoire) を開始点とします。MSR は、最初のバージョン ([MSR-1](#)) が 2014 年 6 月 20 日に発表され、現在は第 2 バージョン ([MSR-2](#)) がコミュニティによるレビューのために公開されています。生成パネルのタスクの詳細は、[LGR 手続き](#) (特に、セクション B.3 の「異体字ルール生成手続き」) に記載されています。

ICANN は、プロジェクト Web サイトで[ワークスペース](#)を公開しています。ここでは、日本語生成パネルの構成、作業計画の最新情報、公開レポート、連絡先の詳細などの関連情報が一元的に掲載されています。

IDN ルートゾーン LGR 策定で求められるスクリプトコミュニティの関与の重要性は、[ルートゾーンラベル生成ルール策定のための生成パネルの募集](#)でも強調されています。ルートゾーン LGR の策定を成功させるには、ルートゾーンの各スクリプトについて生成パネルを形成する必要があります。現在は、アラビア語、アルメニア語、中国語、および日本語のスクリプトについて作業が継続中ですが、さらにベンガル、キリル、デーヴァナーガリー、エチオピア、グルジア、ギリシャ、グジャラート、グルムキー、ヘブライ、クメール、ハングル、ラオ、ラテン、ミャンマー、オリヤー、シンハラ、タミル、テルグ、タイ、チベットなどのスクリプトについても生成パネルの形成が期待されています。

生成パネルの形成に関する詳細は、ルートゾーンラベル生成ルール策定のための生成パネルの募集、および[ルートゾーン LGR のプロジェクト Web サイト](#)に掲載されている追加の補足文書をご覧ください。個別のお問い合わせは、identlds@icann.org で受け付けています。

ICANN について

ICANN の使命は、グローバルインターネットの安定性、セキュリティ、統一性を確保することです。インターネット上の別のユーザーにたどり着くには、コンピュータにアドレス、つま

り名前または番号を入力する必要があります。コンピュータが互いに相手の場所を認識するには、アドレスが一意でなくてはなりません。ICANN では、このような全世界で一意的識別子の調整を行っています。調整する組織がなければ、世界中で1つのインターネットを共有することは不可能です。ICANN は 1998 年に設立されました。インターネットの安全性、安定性、相互運用性を維持するために世界中から参加者が集結している非営利公益法人です。競争を促進し、インターネットの一意的識別子に関するポリシーを策定しています。ICANN は、インターネットのコンテンツを管理していません。スパムを止めることもできませんし、インターネットへのアクセスについて対処することもあります。しかし、インターネット命名システムの調整という役割を通じて、インターネットの拡大と発展に重要な影響を及ぼしています。詳細については、ICANN の Web サイトをご覧ください：www.icann.org